

六甲山域の蝶数種について

西 隆 広

1. ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryeri* (Murray)

本種は、私がかって「芦屋市の蝶」として記録をまとめた時点で未記録であったが、最近六甲山麓の同市内で得る事ができたので報告しておく。発生期から考えてやや遅い記録であるが、個体はかなり新鮮であった。

記録：1992. 6.28 1♀ 芦屋市三条町 (西 隆広 採集)

2. サカハチチョウ *Araschnia burejana* Bremer

本種は県下では所々で見かけるものの、六甲山では殆ど見かけない種であった。現在、本種が多産する大阪府豊能町の初谷では、かつては分布していなかった、との話も聞いたことがある。私がかって六甲山麓の芦屋市内で記録したことがあったが、迷入であろうと考えていた。¹⁾ しかし最近になって3例を得ることができ、しかも1例は極 新鮮であり、また他にも採集・目撃の私信を得た事から、本種は六甲山域に進出しつつあるのではないかと、興味をもって推移を見ている。

記録：1992. 8.22 1♂ 神戸市灘区六甲山頂付近 (西 隆広 採集)

1994. 5. 8 1♀ 芦屋市三条町 (西 隆広 採集)

1994. 9. 4 1♂ 神戸市東灘区住吉川上流 (西 隆広 採集)

3. イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* (Fruhstorfer)

本種は食草が六甲山域に普遍的に見られ、また岡山県ではすでに定着していることから、やがて進出してくるであろうと期待していた種の一つであるが、最近2例を得、また今年(1994年)5月には芦屋市内での目撃記録(ビデオに撮影されたもの)も新聞で報道され、進出から定着しつつのでは、と期待している。私の得た1例は、キツタの花に吸蜜に訪れていたもので、採集時に少し破損したが新鮮であった。

記録：1992. 8.17 1♂ 芦屋市奥山黒越谷 (青木典司 採集)

1993.10.11 1♂ 芦屋市川西町 (西 隆広 採集)

4. クロコノマチョウ *Melanitis phedima oitensis* Matsumura

本種についてはかつて報告したが²⁾、その後も続けて記録されている。ただ記録が夏から冬に集中していることから、越冬は確認できない。参考までに最近の記録を挙げておく。

記録：1994. 8.17 1♂ 芦屋市奥山蛇谷 (西 隆広 採集)

5. 東お多福山のヒョウモンチョウの仲間

最近、気になっているのがヒョウモンチョウ類の動向である。六甲山ではヒョウモンチョウ類を比較的好く見かける事のできた東お多福山山頂付近では、かつてウラギンヒョウモン、ウラギンスジヒョウモン、オオウラギンスジヒョウモン、メスグロヒョウモン、ミドリヒョウモン、ツマグロヒョウモン（同所では私はクモガタヒョウモンは記録していない）を見かけ、特にウラギンヒョウモン、オオウラギンスジヒョウモンは決して珍しいものではなかった。ところが、最近になって同所を訪れたところ、見られるのはウラギンスジヒョウモンとツマグロヒョウモンばかりが目につくように変化していた。また、今までの記録の少なかったメスグロヒョウモンを今年は数回観察し、個体数の増加の感触があった。しかし、オオウラギンスジヒョウモンはここ数年確認できておらず、またウラギンヒョウモンも今年（1994年）は確認できなかった。本来、山頂付近ではささ類を主体とした草原が広がっていると言う、六甲山の中でも特異な景観と生態環境を有する東お多福山では、近年何を目的にしたのか、山頂付近にスギが植林され、それがかなり成長してきている等、生態環境に変化が見られるようで、生息種の推移に注目しているところである。

末筆ながら、貴重な標本を恵与下さった青木典司氏に深甚の謝意を表します。

参考文献

- 1) 西 隆広 1984 芦屋市の蝶 てんとうむし No.9 28-38
- 2) 西 隆広 1988 芦屋市内におけるクロコノマチョウの記録 きべりはむし 第16巻 第1号 8